



# いなほ

# 稻積神社社報

## 第30号

平成21年1月1日発行



# 詩 詞 例 年

奉 今上陛下御即位二十年 祝



平成 20 年正月参拝風景



六	五	三	二	一	十
三月 三十 日	五月 四日 日	三月 二日 日	十七 日	十二 八日 六日 三十	月三 日
夏お 越 大田 祓 滿植 灯 祭	正正正獻 ノノノ 木木木 終三祭祭祭木 了ノ二例前 ノ大夜 祭祭祭祭祭祭祭	甲熊天 満 子野天 社社神 格年 祈詣養 願 祭祭祭	受祈惠 驗 合方供 年 午分 養 願 祭祭祭	三針初節 日 供 年 祈旦 願 祭祭祭	新歲 年 祈旦 願 祭祭祭
					古神月月 神恩 札 焚感次始 上謝 げ 祭祭祭祭



・昭和四十七年生 三十七歳

八方塞の年を抜けて安定期に入ります。生氣（エネルギー）が蓄えられます。生氣（エネルギー）が蓄えられます。お手本の年を國ごと東奔西走の努力を惜します頑張るのです。将来の基礎造りの年になると良い。

・昭和五十六年生 二十八歳

目上の人より援助を受け、強力になります。多忙にもなります。将来身になりますので努力を惜す。

平成二十二年  
己丑・九紫火星



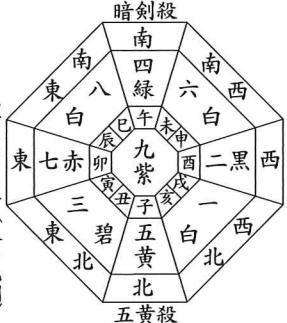
正月元旦より平成二十一年、皇紀二六六九年に入りました。二月四日立春より己丑、九紫火星の干支、九生が加わります。

今年は社会情勢をよく見極め対応する意があり、丑は結ぶの意がある。抱強く、根気よくする事により信を得ます。我田引水の気持ちを抱くこと、諸事停滞し、犠牲的の存在になる。九紫火星は対人関係や物事に新たな縁がある、反面離反離別の要素も備えているので、努力を積み重ねる事により吉運、私欲に走ると凶である。

**平成二十一年方位吉凶圖**

次の星の人は「方災除」(生氣興隆)、「開運」の人は「祈願が受け、神徳をお授かり下さい。

● 四方位に新築・増築・改築行為をする店  
● 進出、外出旅行、移転行為をする店  
● 岁破を受けたる六白金星の星の人は  
● 暗退運の五黄土星の星の人  
● 動運の九紫火星の星の人



- ・昭和三十九年生 四十六歳  
将来の為に威信を築き上げ、仕事、家庭、对外的にも基礎作りをする時、取り組む人々と和み合い心を一つに纏めるといよいよ。
- ・昭和二十九年生 五十五歳  
諸事の完成を図るために、支出が嵩む事になります。完全さを求めると骨折り損で終わり実利のない結果に終わります。体力消耗に注意。
- ・昭和二十年生 六十四歳  
公事や他の事で自己を犠牲にして東奔西走し苦労が多い年。自己管理も大切な年。

飛躍をしようとする拡大、開設等を望む年になる。良き理解者との出会いもあります。真摯の態度で接することです。女性は後厄です厄除祈願をお受けください。

- ・守備態勢が整った人は、心に締め出でてくるので注意。気を引き締める事。付き合い事、気い事多い年。  
金錢管理に注意。心身、経済を管理する事により将来の基礎作りになる。
- ・昭和五十五年生 二十九歳  
未婚者は結婚運の年です、男女とも積極的に進んで吉。但し金錢面は財布の緒を締め、心で接する事。私生活は外面良好、内面は苦勞が多い、足元をよく見つめる事。
- ・昭和四十六年生 三十八歳  
積極的に諸事を起こすには、力不足である。從来の諸事に失敗を生じ

◎吉方	北東・東
◎凶方	北・東南・南・南西・西北
◎建築・諸事	吉
☆二黒土星	(平運気の順調運)
三年、五年の長期計画を立て実践	

・昭和五十四年生 三十歳  
　考え方 行動が一道に分かれます、どちらを選ぶかによって将来の運命行路を決定する分水嶺となります。未婚者は結婚も良い年です。

・昭和四十五年生 三十九歳  
　不公平を持ち易い時です、気持ちを新たにして諸事に慎重に接する事が大切です。ストレスをためないように。

・昭和三十六年生 四十八歳  
　今まで培ってきた人生経験を生かし、将来自に目を向けてこれから三年間何をすべきか模索する時です、冒険せず安全主義で過ごす年。

・年金財管理を怠ると赤字になります。  
又健康管理、甘い物に注意。  
・昭和二十八年生 五十六歳  
品、ブランド商品等に手を出さない事。将来の建設發展の為に蓄財に心がけると良い。  
・昭和十九年生 六十五歳  
精神的に安定期に入ります、ご夫婦、お孫さん達と楽しい一時を過ごす事により、一層温順な生活が営なまれるでしょう。高額な旅行、贈答は控えめに。  
○吉方 東南

ると、挫折感に陥り経済の破綻を招くので、何事にも努力する心が大切。  
・昭和三十七年生 四十七歳

比較的の金回りが良いので、レジャーや遊興費、酒席等の付き合いが多い

・昭和五十四年生 三十一歳  
人から誤解を受けた時に嫉妬されたりする事柄があります。対人関係では交際がなくなったり、転仕・移転の必要が生じます。一歩譲る寛容な気持ちが必要。女性は前厄です、厄除祈願をお受け下さい。

・昭和四十四年生 四十歳  
物事が名ばかりで実利の無い結果に終わります。対外的には疎らされる事多し、内面的には慢が暖まらず空虚になりがちです。念には念を入れての確認が大事。男性は前厄です、厄除祈願をお受け下さい。

・昭和三十五年生 四十九歳  
努力を重ねてきた方は、名譽、徳望を受けたり栄転、栄進の運があります。努力を重ねることにより実り多い年です。暗剣殺を受けていますので油断せぬ事。

昭和十八年生 六十六歳

隠居 引退 後進に道を譲る事を  
考え、七十歳後の生活設計を立てる  
に良い。 健康に留意し趣味を楽し  
むと良い。

◎吉方 西北

◎凶方 北・北東・南・南西

◎建築・諸事 新規事見送り、  
改築 不動産購入吉

★四緑木星（衰退期の注意運）  
善惡に問わらず諸事が表面化しま  
す。 外見は華やかに見えるが内面は  
空虚になる特徴あり、永年努力を積  
み重ねてきた方は功績が称えられる

今まで無難に過ごして来ても、家庭内、仕事面でも変化が生じます。相続、経済問題も生じ易い年です。すべての面で実行より精神面を充実させると良い年です。

## 平成二十一年度

### 祈願提灯奉納のすすめ

古来より清淨なる火に神宿ると言われております。

この故事にちなみ、当神社では、ちょうどちんに住所、氏名、家内安全、商売繁昌祈願のどちらかを書き入れ御神前に掲げ一年の御繁栄、御幸福と共に社頭の殷賑を図っております。

宏大無辺なる稻荷の神様の御加護を戴く日々をお過ごしになるよう「祈願提灯」の奉納をお勧め致します。

#### 祈願提灯初穂料

一灯 一年間 七千円以上

平成二十五年（二〇一三年）

#### 第六十二回伊勢神宮式年遷宮にご奉贊を

伊勢神宮の二十年ごとの式年遷宮は、千三百年余りの歴史を有し、世界に類のない日本固有の麗しい伝統文化であります。多くの皆様のご奉贊いただきたくお願ひ申し上げます。



- ・昭和二十六年生 五十八歳  
今まで無理してきた方は、メツキが剥されたり、名譽が失墜し、除名、破産に追い込まれやすい年。足元をしつかり固める事が大切。
- ・昭和十七年生 六十七歳  
仁徳を称賛されたり、栄誉を受けた事がある。反面気を緩めると詐欺、騙される事もあるので注意。持病にも注意。
- ◎吉方 東北・西北
- ◎凶方 北・南・東西
- ◎建築 諸事 凶作用を受けるので不可
- ☆五黄土星 (衰退期の低迷運)  
今年は冬ごもりするよう、今は活動してきた諸事を見つめ直し誤り等を探し出す年。前身を控え用心してかかる事。忍耐して時を待つ年。  
・昭和六一年生 三十二歳  
そろそろ自身の生気が始動します、自分の思うように諸事が進みませんが、コソコソと進みましょう。男性は前厄です厄除祈願を急げましょう。
- ・昭和五十二年生 三十二歳  
多くの悩みが発生します。家族、子供、金銭面等一つ一つ整理し、じっくり検討しながら解決策を探しましよう。女性は大厄です厄除祈願を受けて下さい。
- ・昭和四十三年生 四十一歳  
諸事何をしても順調に進まない。精神的苦惱、経済的困窮、生活の貧苦があり、悩み事多し、健康にも留意する事。コミニュケーションを大切に。男性は大厄です厄除祈願を受けて下さい。
- ・昭和三十四年生 五十歳  
幅広い活動をしてきても壁に突き当たり、思うように諸事が進みません。ヤル氣を失つたり、転職を考える運です。焦らず努力と辛抱が大切な年です。

- ・昭和十六年生 六十八歳  
諸事穏やかに生活して吉。見学  
体験を断ち堅実に生活する事。健  
康面は軽度の衰弱。精神面も自己  
判断しないように。還暦  
前に前厄です厄除祈願をお受け下  
さい。
- ・昭和二十五年生 五十九歳  
諸事退守し努力する事により握  
を受けて吉となる。健康面は軽度  
の衰弱。精神面も自己判断しないよ  
うに。還暦
- ・昭和三十二年生 五十一年  
来年からの活動の為に、急がず  
重ではからり難い欠点がありま  
生活設計の中では後半には土地、  
購入も吉。男性は後厄です。厄除  
祈願をお受け下さい。

- ・昭和二十三年生 六十一歳  
還暦も過ぎ、晩年の基礎作りをする年。自分本位にならず、家庭内に目を向けましょう。自己中心は周囲を乱します。経験を生かし、交流する事が吉運につながります。
- ・昭和十四年生 七十年  
運勢も満願年を迎えます。心穏やかに生活する事が大切です。あまり筋理をすると持病が再発するか、病を引き起こしますので注意。
- ◎吉方 東南・西北
- ◎凶方 北・東・南・西・南西
- ◎建築・諸事 吉
- ☆八白土星（盛運気の発展運）  
運勢では最良の年です。何事も成長をみて反映発展の年です。しかし事柄に準備や心構えがない場合は物事がうまく進みません。将来の運命を決定させねばいけない年で努力し成功させねばいけない年です。
- ・昭和五十八年生 二十六歳  
社会生活にも慣れ物事にやる気が出てきます。全て勉強と思い切って下さい。結婚には良い年で異性の縁もあります。
- ・昭和四十九年生 三十五歳  
相談事を受ける事があるでしょうが、持ち込まれた話は慎重に吟味しないと行き違いが生じますので注意。女性は前厄となりますので厄除祈願をお受け下さい。
- ・昭和四十一年生 四十四歳  
社会的信用も増すし、実力を発揮できる年です、人から頼りにされやすい年です。将来的に努力を惜しまず行動しましょう。
- ・昭和三十一年生 五十三歳  
社会的信用も増すし、実力を発揮できる年です、交際も広くなり活躍できる年でもあります。約束事を破つて旨用を失わないよう注意。
- ・昭和二十二年生 六十二歳

頼まれ事、相談事が多くなります、親身になつて対応する事。寝不足、不損生に注意。休養を取る事。

◎吉方 東・西

◎凶方 北・東南・南西・西北・南  
◎建築・諸事 吉、年間に完成

☆九紫火星 (平運期の慎重運)  
八方塞がりの年なので今まで実行してきた諸事も中途であつても保守全の行動に切り替えが必要な年。将来の運勢を決定づける年になるので、焦らず諸事をしつかり見つめる事。

・昭和五十七年生 二十七歳  
いろいろな誘惑もあり、欲心から手を出すと大損失しますので注意。  
犯罪に巻き込まれたり、怪我に注意。  
諸事を内に秘めて進めば将来安泰。

・昭和四十八年生 三十六歳  
新規事に興味を抱いたり、拡大を図りたくなるような年ですが、実行する悪性作用が生じます。保守完全に努める事。女性は本厄ですので厄除祈願をお受け下さい。

・昭和三十九年生 四十五歳  
不安定な精神状態に陥り易く、自意識過剰になり、自己制御がきかず身に大波乱が生じ易いので行動を慎重に。

・昭和三十年生 五十四歳  
強情我欲から自身の力を過信しきて、やりすぎると成功を水の泡にし易いので注意。自身の実力に応じた力を保持して吉運。

・昭和二十一年生 六十三歳  
内外共に「こたごた」を引き起こして苦慮します。人生経験を生かしスムーズに処理する事です。見栄を張り、無理すると失敗を招きます。不言実行の心構えを。

◎吉方 北東・東南・西

◎凶方 北・南・南北

◎建築・諸事 見送り

## 伊勢講千社詣りの旅

崇敬会友の会 武田 信平

第四三回伊勢講千社詣りの旅は、十月二十六日（日）～十月二十八日（火）の二泊三日の日程で、淡路島・小豆島を訪れました。

往復千キロを優に超えるバスでの旅でしたが、天候、添乗員さんに恵まれ、退屈もせず笑顔の溢れた楽しい旅になりました。

参加者は年配者が目立ちましたが、皆さん旅慣れたもので参加者一〇七名、一人の落伍者もなく無事日程を終しました。さすが稻積神社伊勢講の参加者と感銘を受けました。

初日は、中央道・名神高速を経由し、山陽自動車道から淡路海峡大橋を経て最初の見学地である「淡路島北淡震災記念公園」「野島断層保存館」に到着しました。

保存館の資料、展示物等を目にして改めて阪神淡路大震災の驚異を再認識させられました。次は、この旅の目的地であります「伊勢諸神宮」の正式参拝です。

参加者は、手慣れた様子で服装を整え、幾分緊張気味ではありました。が、整然と拝殿へと進みました。

神職による参拝儀式を厳粛のうちに終え、本名宮司から淡路島は日本発祥の地であり、貴うべく、次回も是非参加させて頂きたいと思っています。

今年も豊作

御神田の抜穂祭が十月十日行われ、丹澤・塩島総代を始め婦人会から塩島・保坂・根

天照皇大神様の御両親が祀られているお宮である等々詳細な概要説明があり、伝統ある神宮の由緒が理解出来ました。

参拝からの緊張も解れ、旅の楽しみである宿泊先の洲本温泉に向かい初日を無事終りました。

二日目は、淡路鳴門海峡の渦潮を眼下に、高松自動車道を経て、フェリーで小豆島に向かいました。

土庄港では、平和の群像を見学、先生と子供の頬笑しましに姿に触れ、これを映画化した際のセット跡、「二十四の瞳」映画村を見学、当時の状況に一時触れることが出来ました。次は、小豆島名物オリーブ園を見学、オリーブの用途の多さに感嘆しました。

宿泊先の宴会では、根津宮司はじめ各世話人の皆さんを中心に戸を盛り上げて頂きました。

最終日は、紅葉亭からロープウェイで早秋の寒霞溪を散策、渓谷の余韻を残したまま大部港からフェリーで小豆島を後に甲府への帰路につきました。

今回初めて伊勢講に参加させて頂き驚いたのは、先輩方の「元気」に感服いたしました。

私は皆さんの「元気」を貢うべく、次回も是非参加させて頂きたいと思っています。

優勝

津・土肥の各氏、佐藤いなほ会長等が参加、秋晴の中撃に実った稻を刈取った。

平成二十一年厄年表(数え年)

第八回神社関係者囲碁大会が今年も八月十八日神社庁を会場に開催された。

この大会は囲碁を通じて神社関係者の親睦を図り、併せて青少年の神社への関心を深め、健全育成に貢献せんと、教育関係神職協議会（伊藤裕久会長）が中心となり始められた。今大会に当神社から一般の部に二チーム参加、A（青柳英治・内藤常之・坂本高雄B（保坂昭泰・内藤幸也・神宮寺武）の各氏が団体戦を戦い見事Aチームが三回目の優勝を飾った。優勝したAチーム、健闘したBチームの皆さんこれからも精進し来年の大会でのご活躍を期待しております。



## 崇敬会だより

第四回崇敬会大祭が去る九月二十日に開催された。

今回は式典の後、元山梨県知事、当会名誉会員である望月幸明先生を講師にお迎えし「様々な品格」と題し御講演を戴いた。

数え年とは、満年令に誕生日前に一歳を加えた年です。

	36歳 昭和 49年生	32歳 昭和 53年生	18歳 平成 4年生	前 厄	女 の 厄 年	
	大厄は 三十三歳		本 厄	後 厄		
	37歳 昭和 48年生	33歳 昭和 52年生	19歳 平成 3年生	本 厄		60歳 昭和 25年生
	38歳 昭和 47年生	34歳 昭和 51年生	20歳 平成 2年生	後 厄		41歳 昭和 44年生

男 の 厄 年
前 厄
本 厄
後 厄

正ノ木稻荷大明神  
 命繼く食もの衣もの住むいへも  
 稲荷の神の恵みなりけり

甲府市太田町公園内鎮座  
電話 (055)233-5573  
FAX (055)226-0787